

平成16年度試験研究成果書

区分	指導	題名	きゅうり無加温ハウス栽培における果色と光沢の優れる品種の特性		
[要約] きゅうり無加温ハウス栽培において、果色と光沢の優れる通称「ワックス系品種」は、従来型品種よりもA品率が高く果実色が濃緑であるため、高品質のキュウリ果実を安定して出荷できる。早熟作型では「ハイグリーン21」および「プロジェクトX」が、抑制作型では「一心」および「優輝」が収量性から有望である。					
キーワード	きゅうり	早熟栽培	品種	収量	園芸畑作部 野菜畑作研究室

1. 背景とねらい

きゅうりのハウス栽培では、従来の品種よりも果実色が濃緑で光沢の優れる品種（通称「ワックス系品種」と呼称される）が育成されてから、全国的に導入が行われている。この「ワックス系品種」については当初従来のハウス用品種よりも夜温を高く管理するなど、高度な栽培技術が必要とされていたが、品種改良が進み従来型品種と同等の栽培環境でも生育の優れる品種が育成されつつあるので、本県の主流作型である無加温ハウス栽培における収量特性について調査を行った。

2. 成果の内容

- (1) 早熟作型では「ハイグリーン21」ならびに「プロジェクトX」のA品率が高く、初期収量が多く収量性に優れる（表1、図1）。
- (2) 抑制作型では「一心」ならびに「優輝」の雌花率が高く、商品果率は「トップグリーン」と同等か優るため収量性に優れる（表3、5）。
- (3) これらの品種はいずれの作型においても果色が濃く、果実の光沢が優れるため外観に優れる（表2、4）。

3. 成果活用上の留意事項

- (1) いずれの品種もうどんこ病やべと病については耐病性を有しない。

4. 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者
県下全域
- (2) 期待する効果
きゅうりハウス栽培での品種選定の参考となる。

5. 当該事項にかかる試験研究課題

(848)果菜類における新形質品種の選定と栽培法（平成14～16年、県単、平成14年度全農いわて要望課題）

(1000)キュウリ優良品種の選定と栽培法

6. 参考資料・文献

- (1) 平成14～16年度 野菜畑作研究室試験成績書（一部未定稿）

7. 試験成績の概要

表1 早熟栽培での収量

	平成15年			平成16年		
	商品果収量 (kg/a)	商品果率 (%) z	A品率 (%) y	商品果収量 (kg/a)	商品果率 (%) z	A品率 (%) y
トップグリーン(麟)	1031	86	76	1129	83	66
はるか(燧)	1129	86	71	1218	84	67
プロジェクトX	1135	86	82	1191	86	71
ハイグリーン2 1	1258	90	78	1215	88	68
インパクト	1082	85	78	1197	80	69
オペラ	1202	87	74	1060	78	60
グリーンラックス2	1044	87	75	1047	77	65
シャープ3 0 1	1184	86	73	1209	80	64

定植日：両年とも4月14日

収穫期間：5月中旬～7月中旬

z 商品果率 = (A品 + B品) / 総収量 × 100

y A品率 = A品収量 / 商品果収量 × 100

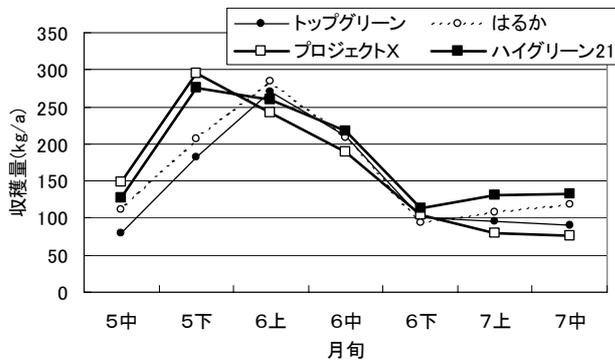


図1 早熟栽培での商品果収量の推移(H15)

表3 抑制栽培での収量

	平成15年			平成16年		
	商品果収量 (kg/a)	商品果率 (%) z	A品率 (%) y	商品果収量 (kg/a)	商品果率 (%) z	A品率 (%) y
トップグリーン(麟)	491	82	66	589	92	79
はるか(燧)	582	83	69	595	82	78
優輝	595	85	70	735	92	73
一心	620	90	71	702	94	84
プロジェクトX	584	87	76	678	86	80
オーシャン2	595	90	71	735	91	80
インパクト	584	83	70	698	90	83

定植日：平成15年7月29日、平成16年7月26日

収穫期間：9月上旬～11月上旬

z 商品果率 = (A品 + B品) / 総収量 × 100

y A品率 = A品収量 / 商品果収量 × 100

表4 抑制栽培での果実品質

	果色	光沢
トップグリーン(麟)	2.8	3.3
はるか(燧)	3.3	4.0
一心	3.5	3.5
優輝	3.0	3.3

果色：1(淡い) 5(濃い)

光沢：1(劣る) 5(優れる)

表2 早熟作型での果実品質(平成16年度)

	L*	a*	b*	果色	光沢
トップグリーン	37.0	-11.5	11.3	3.0	3.0
はるか	37.6	-10.1	10.4	3.2	3.0
プロジェクトX	37.1	-10.4	9.4	3.4	3.8
ハイグリーン2 1	36.3	-9.4	9.7	3.2	3.6

L* (明度)：小(黒) 大(白)

a*：マイナス領域(緑) プラス領域(赤)

b*：マイナス領域(青) プラス領域(黄)

果色：1(淡い) 5(濃い)、光沢：1(劣る) 5(優れる)

L*、a*、b*値は7月20日調査

果色、光沢は6月3日～7月20日の平均値

表5 抑制栽培での雌花率(%) (平成14年度)

	主枝	側枝	全体
トップグリーン(麟)	58	86	80
はるか(燧)	35	71	64
一心	79	93	90
優輝	81	97	92